

地震動観測報告

— その3 昭和63年4月—平成元年9月 —

八戸工業大学建築工学科地震動観測運営委員会*

Earthquake Observation Report

— Part III 1988 April—1989 September —

Earthquake Observation Committee of Department of Architecture
of Hachinohe Institute of Technology

Abstract

This is a report on the outline of the earthquake observation records, from April 1988 to September 1989. Fig. 1 and Fig. 2 show the epicenter locations of the earthquakes. Tables 1-3 show various parameters of earthquake. The parameters, the epicenter location, magnitude, and the other parameters, are determined by "The Seismological Bulletin of The Japan Meteorological Agency" (April 1988-September 1989).

1. はじめに

本報告では、昭和63年4月から平成元年9月までに観測された地震記録を地震月報（参考文献1から18）によって震源位置などの諸元を決定した結果をまとめたものである。

2. 観測記録の概要

昭和63年4月から平成元年9月までに、100個の地震動が観測された。いずれもトリガーレベル0.3 galである。これらの記録のうち95の地震の諸元を決定できた。

表1から表3にこれらの地震動の諸元を示す。図1, 2は震源位置を決定できた95地震の震央位置を示す。

95地震の主な震源地域は、青森県東方沖、岩

手県北部、岩手県北東沖などである。観測された最大加速度は、自由地盤で15.2 gal、建物3階で24.6 galである。

備 考

表1～3の各項目の内容は次の通りである。

項 目	内 容
No	観測地震動の番号（前報より継続）
Date	観測年月日
Time	記録開始時刻
T (sec)	地震動が本観測点に到達するために要した時間
Event	発震時刻（地震月報）
Latitude	震央位置（緯度、地震月報）
Longitude	震央位置（経度、地震月報）
Depth	震源深さ（単位 km、地震月報）
M	マグニチュード（地震月報）
Delta	観測点の震央距離（単位 km、地震月報）

平成2年10月15日受理

* 八戸工業大学建築工学科

* 委員：内山和夫、真山文彦、伊藤敦一、
毛呂 真、滝田 貞